

事務事業分析シート（令和4年度）

No1

事務事業コード	05-05-01	戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事	
事務事業名	地域図書館施設の管理	部課名	地域文化スポーツ部地域図書館課	課長名	村上		
		担当者名	平	内線	436		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（4年度）	01-01-01	管理費					
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 4年度 <input type="radio"/> 3年度）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業		
開始年度	昭和 25（1950）年度	根拠	建築基準法等				
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	法令等					
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input type="radio"/> 計画 <input checked="" type="radio"/> 非計画			
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市				
	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成				
	施策	03	「読書のまちづくり」の推進				
目的	図書館施設の適切な維持管理により施設の長寿命化を図るとともに、安全面での利用者サービスの充実を図る。						
対象者等	図書館利用者						
内容	区立図書館（4館）とサービスステーション（2カ所）の保守及び維持管理業務 ・南千住図書館：南千住6-63-1／敷地面積2,723.96㎡／延床面積2,686.10㎡（建物合計5,270.69㎡） ・尾久図書館：東尾久8-45-4／敷地面積1,728.54㎡／延床面積2,106.13㎡ ・町屋図書館：町屋5-11-18／都営住宅敷地内／延床面積1,045.44㎡ ・日暮里図書館：東日暮里6-38-4／敷地面積893.92㎡／延床面積1,369.66㎡ ・汐入図書サービスステーション：南千住8-12-5-109・113・114／延床面積124.07㎡ ・冠新道図書サービスステーション：西日暮里6-25-14／延床面積181.44㎡						
経過	・昭和37年 3月 荒川図書館開館、昭和46年 9月尾久図書館開館、昭和48年 4月旧南千住図書館開館、昭和51年10月 町屋図書館開館、昭和54年 6月日暮里図書館開館 ・平成 4年 7月 全館で日曜開館・月曜休館実施 ・平成10年 5月 現南千住図書館開館。南千住図書館で祝日開館実施 ・平成17年 4月 全館で祝日開館実施。南千住図書館の土曜開館時間を19時半まで延長 ・平成19年 9月 汐入サービスステーションを開設（平成22年12月児童拡張、平成25年10月配架拡充） ・平成21年11月 冠新道サービスステーションを開設 ・平成28年12月 荒川図書館廃止 ・平成29年10月～平成30年4月 日暮里図書館大規模改修 ・令和 3年 2月 尾久図書館が宮前公園内に移転し開館 ・令和 4年 5月 全館で9時開館を実施（サービスステーションを除く）						
必要性	図書館全体に係る保守・維持管理業務であり、図書館サービスを提供するうえで不可欠である。						
実施方法	（3委託）（直営の場合 <input type="radio"/> 常勤職員 <input type="radio"/> 会計年度任用職員） 専門知識を有する事業者に保守点検、維持管理業務等を委託し実施している。						
指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		元年度	2年度	3年度	4年度見込み	目標値(8年度)	
	①						
	②						
③							
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
4年度	5年度						
継続	継続	地域図書館の維持管理及び運営にかかる事業であり、効率的に管理するため継続して実施する。					

予算・決算額等の推移		28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
予算額		85,525	71,709	73,482	76,519	96,154	104,263	105,882
決算額(4年度は見込み)		73,981	63,644	69,010	69,142	74,388	100,610	105,882
実績の推移	事項名(4年度は見込み)	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
	光熱水費(千円)	25,837	21,495	23,068	19,742	16,950	24,895	25,113
	保守管理委託費(千円)	29,853	25,197	27,850	32,575	40,272	57,092	61,785
予算・決算の内訳								
令和2年度(決算)			令和3年度(決算)			令和4年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
需用費	電気・ガス・水道等	16,950	需用費	電気・ガス・水道等	24,895	需用費	電気・ガス・水道等	25,113
需用費	消耗品等	50	需用費	消毒用品消耗品等	1,558	需用費	消毒用品消耗品等	1,621
役務費	電話料・地域館受水槽清掃等	3,594	役務費	電話料・地域館受水槽清掃等	3,480	役務費	電話料・地域館受水槽清掃等	3,230
委託料	各館設備保守業務委託	40,272	委託料	各館設備保守業務委託	57,092	委託料	各館設備保守業務委託	61,785
使用料等	SS賃借・その他の賃借料等	13,522	使用料等	SS賃借・その他の賃借料等	13,585	使用料等	SS賃借・その他の賃借料等	14,133

行政コスト計算書	勘定科目		2年度	3年度	差額	行政収入	勘定科目		2年度	3年度	差額
	給与関係費		13,280	14,541	1,261		地方税等		0	0	0
物件費		74,283	100,610	26,327	国庫支出金		0	0	0		
維持補修費		0	0	0	都支出金		0	0	0		
扶助費		0	0	0	分担金及び負担金		0	0	0		
補助費等		0	0	0	使用料及び手数料		43	89	46		
減価償却費		50,653	108,021	57,368	その他		1,445	1,515	70		
不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0	0	行政収入合計(a)		1,488	1,604	116		
賞与・退職給与引当金繰入額		809	2,275	1,466	行政収支差額(a)-(b)=(c)		▲137,537	▲223,843	▲86,306		
その他行政費用		0	0	0	金融収支差額(d)		▲719	▲867	▲148		
行政費用合計(b)		139,025	225,447	86,422	通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲138,256	▲224,710	▲86,454		
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)		71	0	▲71		
特別収支差額(f)-(g)=(h)		71	0	▲71	当期収支差額(e)+(h)		▲138,185	▲224,710	▲86,525		

備考 行政費用のうち物件費の主なものは施設保守の業務委託料57,092千円、光熱水費24,895千円である。行政収入のうちその他の主なものは汐入SS家賃の社会福祉協議会負担分1,281千円、自動販売機設置に伴う光熱水費受入146千円である。減価償却費は昨年度に開館した尾久図書館分が今年度から加わり増加した。

問題点・課題 ・感染症予防対策を図るとともに、施設設備の適正な維持管理を実施し、利用者にとって安心・安全な施設運営を行う。

問題点・課題の改善策		
令和3年度に取り組む具体的な改善内容	令和3年度に実施した改善内容および評価	令和4年度以降に取り組む具体的な改善内容
① 定期的に機器設備の保守点検等を行い、安心してサービスを利用できる環境を維持管理していく。	専門業者による保守点検や、感染症予防対策を実施し、利用者にとって安全な環境の提供および設備の適正な維持管理を行った。	利用者の安全を第一とした環境設備の維持管理と、快適な利用環境を提供していく。
②		
③		

他区の実況 (実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)

全区で実施

議会(要旨) 平成29年度予特 町屋図書館の今後の建替え予定について
 平成29年度9月 日暮里図書館の大規模改修の内容について
 令和2年度9月 今後の図書館改修について
 令和2年度9月 図書館の適正配置について
 令和2年度9月 文教・子育て支援委員会 新たな尾久図書館の運営方針について

事務事業分析シート（令和4年度）

No1

事務事業コード	05-05-02		戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input checked="" type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事	
事務事業名	特色ある地域図書館の推進		部課名	地域文化スポーツ部地域図書館課		課長名	村上	
			担当者名	石原		内線		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（4年度）	01-02-02	図書館資料費						
	01-02-03	読書活動推進事業費						
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 4年度 <input type="radio"/> 3年度）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業			
開始年度	平成 29	（ 2017 ）	年度	根拠	荒川区立図書館の運営に関する基本的な考え方、荒川区立図書館資料収集要綱			
終期設定	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	令和 7	（ 2025 ）	年度	法令等			
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input type="radio"/> 計画		<input checked="" type="radio"/> 非計画		
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成					
	施策	03	「読書のまちづくり」の推進					
目的	館ごとに地域の特色を踏まえ、読書の楽しみを味わうことと併せ、生涯学習の支援と生活に役立つ図書館を目指すとともに、地域交流の輪をさらに広げる拠点となることを目的とする。							
対象者等	図書館利用者							
内容	<p>【特色ある蔵書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・荒川区立図書館資料収集要綱及び荒川区立図書館の運営に関する基本的な考え方に基づき、生涯にわたる読書活動を推進するため、地域特性や多様化・高度化するニーズを的確に把握し、積極的に資料を収集し情報を提供する。 <p>【新たな事業展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発信とアウトリーチ：出張おはなし会等の開催、街なか図書館の整備等 ・心地よい居場所づくり：多様な閲覧席の整備、子どもから高齢者までの居場所づくり等 ・区民参加の促進：図書館ボランティアの育成、専門家によるイベントやワークショップの実施等 <p>【各館の特色】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南千住：奥の細道コーナー、ふるさと文化館との連携事業 ・尾久：公園内立地を生かした事業展開 ・町屋：ぬりえ美術館や保育園・中学校との連携事業 ・日暮里：吉村昭ギャラリー 							
経過	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年4月 地域図書館課設置 ・平成30年5月 「読書を愛するまち・あらかわ」を宣言 ・平成30年6月 「あらかわ街なか図書館」設置開始 ・平成30年10月 「読書を愛するまち・あらかわ」の取組がプラチナ大賞・次世代育成賞を受賞 ・令和元年7月 日暮里駅東口に図書返却ポスト設置 ・令和2年4月8日から5月29日まで緊急事態宣言発出に伴い臨時休館 ・尾久図書館は、移転作業のため令和2年10月1日から閉館、令和3年2月20日に新館開館 							
必要性	「読書を愛するまち・あらかわ」をさらに展開していくために必要な事業である。							
実施方法	（ 1直営 ） （ 直営の場合 <input checked="" type="radio"/> 常勤職員 <input checked="" type="radio"/> 会計年度任用職員 ）							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			元年度	2年度	3年度	4年度見込み		目標値(8年度)
	①	入館者数	911,057	565,418	834,489	890,500	1,013,200	地域図書館の入館者数の総計（ゆいの森あらかわ除く）
	②	おはなし会・おたのしみ会の参加者数	3,580	838	2,085	3,000	6,000	地域図書館のおはなし会参加者数の総計（ゆいの森あらかわ除く）
③	個人登録者数	49,766	46,846	52,600	60,500	91,000	地域図書館の個人登録者数の総計（ゆいの森あらかわ除く）	
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
4年度		5年度						
重点的に推進		重点的に推進						
地域に根ざした、地域の特性を生かした地域図書館としての取組みを展開させ、魅力ある図書館とするため、重点的に推進する。								

予算・決算額等の推移		28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
予算額		75,067	72,340	60,308	62,406	60,591	57,863	55,491
決算額（4年度は見込み）		71,366	68,794	59,149	60,297	59,755	57,088	55,491
実績の推移		28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
事項名（4年度は見込み）								
図書雑誌蔵書冊数(冊) * 地域館分		542,975	524,779	535,327	530,941	524,189	525,500	526,500
個人総貸出点数(点) * 地域館分		1,465,239	1,290,495	1,323,888	1,258,786	1,013,256	1,299,400	1,300,000
事業の実施回数(回) * 地域館分		—	307	325	323	105	225	325
入館者数(人) * 地域館分		1,196,773	869,287	935,673	911,057	565,418	831,100	848,800

予算・決算の内訳								
令和2年度（決算）			令和3年度（決算）			令和4年度（予算）		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
需用費	資料、消耗品等	59,033	需用費	資料、消耗品等	56,751	需用費	資料、消耗品等	54,409
委託料	街なか図書館看板等	506	委託料	街なか図書館看板等	144	委託料	街なか図書館看板等	122
備品購入費	街なか図書館書架等	216	備品購入費	街なか図書館書架等	193	備品購入費	街なか図書館書架等	161
			報償費	謝礼	0	需用費	街なか図書館印刷製本、消耗品	165
						報償費	謝礼	254

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	2年度	3年度	差額	2年度		3年度	差額		
行政費用	給与関係費	25,448	28,971	3,523	地方税等	0	0	0	
	物件費	59,755	57,088	▲ 2,667	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0	
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,551	4,532	2,981	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 86,754	▲ 90,591	▲ 3,837	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	86,754	90,591	3,837	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 86,754	▲ 90,591	▲ 3,837	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 86,754	▲ 90,591	▲ 3,837		

備考 行政費用において、物件費の主なものは図書館資料で56,286千円である。

問題点・課題
 ・ 図書専門員のスキルを活かした事業展開や情報発信を行い、地域図書館の魅力をさらに発揮する。
 ・ 新型コロナウイルス感染予防対策を徹底し、利用者が安心して参加できる環境を確保しながらイベントを実施する。また、区民のニーズや知的好奇心を高める新鮮で魅力ある書架構成を行うとともに、地域に根ざした特色ある図書館を運営する。
 ・ 街なか図書館について民間施設を中心に更なる拡充を図るほか、既存施設のフォローを強化し、本が身近にあるまちづくりを推進していく必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和3年度に取り組む具体的な改善内容	令和3年度に実施した改善内容および評価	令和4年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	区民のニーズに応えるべく、職員的能力向上の為に研修等を実施していく。	全館で各地区の地域包括支援センターと協力して、認知症に関する職員研修を実施した。	引き続き、庁内外の研修やeラーニング等を積極的に活用し、職員的能力向上に努めていく。
②	感染症予防対策を図りつつ各図書館ごとにイベント等を計画し地域に根ざした図書館づくりを進めていく。	感染症対策に配慮しながら、各図書館でイベントを実施したが、緊急事態宣言下等でイベント中止となった期間もあった。	感染症対策の徹底を継続しつつ、各図書館の特色を生かしたイベントや取組みを充実させていく。
③	街なか図書館の更なる拡充を図り、読書のまちづくりを推進していく。	令和3年度については、民間施設を中心に10箇所以上開設する一方で、新型コロナウイルスの影響により、閉館する施設もあった。	街なか図書館の更なる拡充を図るほか、これまで開設した街なか図書館のフォローやPR活動等を推進していく。

他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)
	全館直営で実施しているのは荒川区のみ

議会(要旨)状況
 令和2年度2月 文教・子育て委員会 荒川区子ども読書活動推進計画(第四次)の素案について
 令和2年度予特 図書館員おすすめ本のPOP展示について
 令和3年度決特 家読と「読書を愛するまち・あらかわ宣言」の推進について
 令和3年度11月 「読書を愛するまち・あらかわ宣言」後の読書推進活動について
 令和4年度6月 読書条例の制定について

事務事業分析シート（令和4年度）

No1

事務事業コード	05-05-03		戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input checked="" type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事
事務事業名	図書館施設の改修		部課名	地域文化スポーツ部地域図書館課	課長名	村上	
			担当者名	平	内線	436	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（4年度）	01-03-01	営繕費（一般分）					
	01-03-98	営繕費（施設改修分）					
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 4年度 <input type="radio"/> 3年度）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業		
開始年度	昭和 37	(1962)	年度	根拠	荒川区公共建築物中長期改修実施計画		
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	()	年度	法令等	荒川区公共施設等総合管理計画		
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input type="radio"/> 計画		<input checked="" type="radio"/> 非計画	
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市				
	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成				
	施策	03	「読書のまちづくり」の推進				
目的	図書館施設の適切な修繕、改修を行い、施設の長寿命化を図ると共に、安全面での利用者サービスの向上を図る。						
対象者等	図書館利用者						
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設備更新や大規模改修については利用者の利便性及び老朽化の程度、緊急性等を勘案し、施設の機能・性能の保全に努めながら計画的に実施する。 ・ 小破修繕については不具合の状況に合わせ、必要な修繕を各館ごとに実施している。 						
経過	<p>主な図書館施設の施設改修工事</p> <p>【令和元年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 南千住図書館 非常用照明改修工事 2,278,320円 ・ 町屋図書館 照明器具入替修繕 4,063,532円 <p>【令和2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 南千住図書館 空調機自動制御コントローラ更新 42,020,000円 <p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 南千住図書館 空調設備熱源設備修繕 13,332,000円 ・ 南千住図書館 防火設備・自動火災報知設備改修 20,375,520円 						
必要性	建物の老朽化が進む中で、施設を維持するためには不可欠な経費である。						
実施方法	（ 3委託 ） （ 直営の場合 <input type="radio"/> 常勤職員 <input type="radio"/> 会計年度任用職員 ） 工事は営繕課に執行委任するが、小規模修繕については所管課で対応する。						
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明
			元年度	2年度	3年度	4年度見込み	
	①						
	②						
③							
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
4年度	5年度						
推進	推進	区の中長期改修実施計画及び荒川区立図書館の運営に関する基本的な考え方を踏まえ魅力ある図書館となるよう推進する。					

予算・決算額等の推移		28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
予算額		106,276	210,657	23,061	15,348	54,182	57,765	5,739
決算額(4年度は見込み)		71,040	209,632	8,801	9,825	46,053	37,738	5,739
実績の推移		28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
事項名(4年度は見込み)								
全館改修工事件数(件)		3	2	1	2	1	3	0
地域図書館修繕件数(件)		61	27	34	35	19	35	30

予算・決算の内訳								
令和2年度(決算)			令和3年度(決算)			令和4年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
家屋等修繕費	各館家屋修繕費	4,033	家屋等修繕費	各館家屋修繕費	4,030	家屋等修繕費	各館家屋修繕費	5,739
家屋等修繕費	空調機自動制御コントロール更新(南千住)	42,020	家屋等修繕費	熱源設備他修繕(南千住)	13,332			
			委託料	工業用水道切替工事(南千住)	0			
			工事請負費	消防・防火設備改修(南千住)	20,376			

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	2年度	3年度	差額	2年度		3年度	差額		
行政費用	給与関係費	9,853	11,036	1,183	地方税等	0	0	0	
	物件費	0	0	0	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	46,053	30,676	▲ 15,377	都支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0	
	賞与・退職給与引当金繰入額	601	1,726	1,125	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 56,507	▲ 43,438	13,069	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	56,507	43,438	▲ 13,069	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 56,507	▲ 43,438	13,069	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 56,507	▲ 43,438	13,069		

備考 行政費用のうち維持補修費の内訳は、南千住図書館における空調機熱源設備等更新費用13,332千円、防火シャッター改修費用13,314千円、各図書館における家屋修繕費用4,030千円となっている。

問題点・課題
 ・町屋図書館のバリアフリー化等の課題は、都営住宅の一部の使用許可を受けている施設のため、東京都の都営住宅の建替えの動向を注視しつつ、多角的に改善方法を検討していく必要がある。
 ・南千住図書館は改修周期に該当する設備があるため、優先度が高いものから効率的かつ効果的に補修や改修を行い、安全性を確保していく必要がある。

問題点・課題の改善策			
	令和3年度に取り組む具体的な改善内容	令和3年度に実施した改善内容および評価	令和4年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	点検結果を活用して設備の現状を確認し、優先度が高いものから効果的に設備の補修等を実施する。	設備の延命を目的として南千住図書館の空調設備の分解修繕を実施した。	安全・安心して利用できる環境を維持するため、優先度が高いものから施設補修等を実施する。
②	消防・防火設備の改修実施にあたり、騒音防止や機材の保管場所等、利用者への安全に配慮して改修を実施する。	南千住図書館の消防・防火設備の改修を実施した。	
③			

他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)
	全区で実施

議会(要旨)質問状
 平成29年度予特 町屋図書館の今後の建替え予定について
 平成29年度9月 日暮里図書館の大規模改修の内容について
 今後の図書館改修について